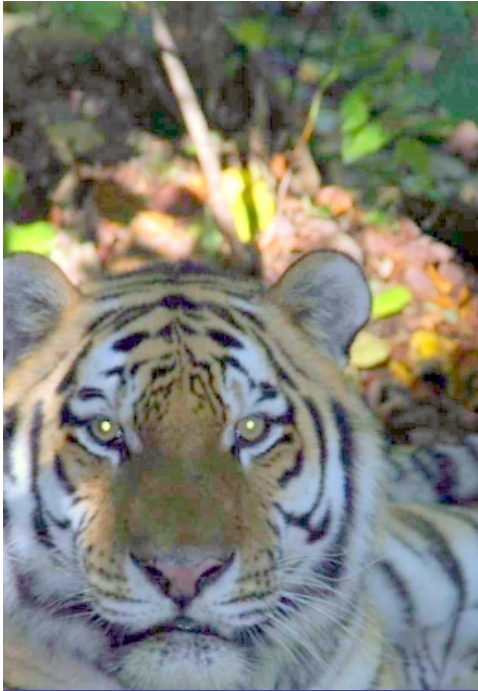




日本海を挟んだお隣にあるロシア極東には、「タイガ」と呼ばれる森が広がっています。私たち日本人にとって、「北にある氷に閉ざされた場所」というイメージの強いロシアですが、実はアムール川やシマフクロウが、広葉樹と針葉樹が混じる森に暮らす、生きもののにぎわい溢れるところです。しかし、残念なことに、このような森はもはや世界でここにしか見られません。

中でもオホーツク海に注ぐアムール川（黒竜江）の支流が流れる、シホテ・アリニ山脈のビキン川流域は、1990年代から日本をはじめとする周辺国への木材輸出のために開発の脅威に何度もさらされながら、ウデヘやナナイなどの少数民族の人々が森や川の恵みを活用する暮らしを守ってきました。

そして、この場所を将来に受け継いでいきたいと、彼ら先住民は現地の環境 NGO とともに、ビキン川流域の森林地帯の保護区指定と世界遺産登録を実現しようと動き始めています。そこで、隣国である私たち日本からも現地の活動を応援するため「タイガの森フォーラム」を立ち上げることになりました。

その発足記念イベントでは、日本とつながるウスリータイガの生物多様性に目を向け、日本人として何ができるのかを一緒に考える機会としたいと思います。ぜひご参加ください。

『タイガの森フォーラム』発足記念イベント

タイガって何だ？

～知ろう まもろう 水と命、生物多様性の生まれるところ～

2009 年 12 月 2 日(水) 18:30-20:30@東京ウイメンズプラザ



主催：タイガの森フォーラム設立準備委員会、
国際環境 NGO FoE Japan、地球・人間環境フォーラム
協力：株式会社リコー、パタゴニア日本支社

『タイガの森フォーラム』発足記念イベント
タイガって何だ？
～知ろう まもろう 水と命、生物多様性の生まれるところ～
<http://www.gef.or.jp/activity/forest/taiga/index.html>

◆プログラム（敬称略、予定）

- 写真で見る奇跡の森・タイガ（伊藤健次／写真家）
- 森の民・ウデへの過去・現在・未来（ロディオ・スリヤンジガ／ロシア北方先住民族協会）
- 知ろう まもろう タイガの森～『タイガの森フォーラム』発足（野口栄一郎／FoE Japan）

◆日時・場所

12月2日(水) 18:30-20:30

東京ウィメンズプラザ ホール

JR 山手線・東急東横線・京王井の頭線：渋谷駅

下車徒歩 12 分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線：表参道駅

下車徒歩 7 分

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67

<http://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/contents/map.html>



◆参加費：1,000 円（主催団体・協力団体の会員等は無料）

◆定員：240 名

■申し込み

○ウェブサイトから（推奨）

<http://www.gef.or.jp/activity/forest/taiga/form.htm>

○下記を E メール（gef@gef.or.jp）または FAX（03-3813-9737）にて、件名を「タイガの森フォーラムイベント」として送付ください。

ご氏名（ふりがな）、ご所属／部署、連絡先 TEL、E-mail アドレス、
主催団体・協力団体の会員等であればその旨

■問い合わせ

- ・ 地球・人間環境フォーラム（担当：坂本有希）TEL：03-3813-9735
- ・ 国際環境 NGO FoE Japan（担当：野口栄一郎）TEL: 03-6907-7217

関連イベント連続セミナー「人々の生物多様性」第 4 回
「極東ロシアのタイガの森から～日本とつながる生物多様性」
http://www.gef.or.jp/activity/forest/biodiv/seminar2009_4.html

日時：12 月 4 日（金） 14:00-16:30

場所：環境パートナーシップオフィス（EP0）（定員：70 名）

- ウデへの人々の暮らしと日本（ロディオ・スリヤンジガ／ロシア北方先住民族協会）
 - 日本企業が海外の生態系保全に取り組む理由（岸 和幸／リコー社会環境本部環境コミュニケーション推進室スペシャリスト）
 - 『タイガの森フォーラム』で生物多様性保全に貢献（野口栄一郎／国際環境 NGO FoE Japan）
- 参加費：1,000 円（主催団体の会員およびサポーター、協力団体のスタッフおよび会員は無料） 事前登録必要